

一学校だより 2023年 10月27日 第27号
(令和5年)(OCTOBER:神無月)

みはらっ子

☆学校教育目標…「気づく つながる 創り出す」
～認め合い 学び合い 高め合う児童～ 文責 嵐

小中 PTA 廃品回収作業には、多数のご参加ご協力ありがとうございました

10月21日(土)に、小中PTA廃品回収が予定通り行われました。小中保護者のみなさんと小学5・6年生、中学生全員が一緒になって作業を行いました。そして、今年も三原村青年団の方々が駆けつけてくれました。おかげさまで、無事作業を終えることができました。軽トラック等での各地区からの収集や仕分け作業に携わって頂いたみなさん、資源ごみの提供にご協力して頂いた地域のみなさん、お世話をかけました。ありがとうございました。また、5・6年生以外の小学生も、お家の人と一緒に参加して、一生懸命お手伝いをしてくれました。ありがとう。



回収業者の方より、小学生・中学生にお褒めの言葉を頂きました…業者の方より「作業に参加した小・中学生の動きや手際の良さ、協力できている姿に感心しました。」また「他の校区の学校と比べても、三原小中の子どもたちはやる気が伝わってきました。」とも言われ、子どもたちの頑張りに、思わず心がほわっとしました。



10月6日、三原村商工会の川村さんを通じて、幡多法人会、三原支部長の沢良木さんより、ライフジャケット24着(イエロー12着、レッド12着)を寄贈して頂きました。

大変ありがたいです。今後は、あゆの放流体験や水生生物調査等の河川や海辺での体験活動の際に、子どもたちの安心・安全な装具、命を守る必需品として大いに活用させていただきます。関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

10月27日から11月9日は「読書週間」です…戦後間もない1947年、まだ戦火の傷痕が残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。その時の反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。いま、電子メディアの発達によって世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

(公益社団法人読書推進運動協議会ホームページより引用)

本は知識の根本(こんぼん)…本はあたりまえですが、文字で綴られています。では、一冊の本にはどれくらいの文字数があるのでしょうか。例えば、文庫本の1ページには600文字から700文字があるそうです。一冊200ページだとすれば、10万文字前後になります。そして、300ページだと20万文字前後です。

小さな一冊の本に綴られたたくさんの文字、その文字が伝えてくれる様々な知識や新しい世界や不思議な物語……なんだか一冊の本が宝箱のように見えてきます。

さて、1年生で習う漢字「本」。「木」の「ねもと」に印をつけたものが「本」という漢字の成り立ちです。「根本」と書いて、「こんぼん」と読みます。「物事がそこから出発して成り立っている、一番大切なもと」という意味があります。したがって、「本」という字を含む熟語には、本物、本質、手本、見本、基本などの大切なものを表す意味が多くありますね。

一冊の書物・書籍を「本」というのは、私たちの「知識の本(もと)」となるからでしょう。読書週間をきっかけに、大人も子どもも、読書を習慣にしてみませんか。

☆2023・第77回読書週間標語 「私のペースでしおりはすすむ」

5・6年生が、11月3日(金)に開催される、三原村どぶろく・農林文化祭で伝統芸能(うちわ踊り)を披露します

5・6年生は、どぶろく祭りに向けて、三原村の伝統芸能・うちわ踊りを練習しています。今年も、皆尾地区の木戸さん、武内さん、新谷さんにご指導頂きながら所作を学んでいます。保護者のみなさん、5・6年生の練習の成果をぜひ見に来て下さい。

・日時 11月3日(金)9:20～(予定)

・場所 本部・ステージ前

※5・6年生は、農構センター・多目的ホール前に8:50集合です